



20年続いた兵庫県市川町との交流事業が閉幕



「鶴居村と市川町との交流を記念する会」

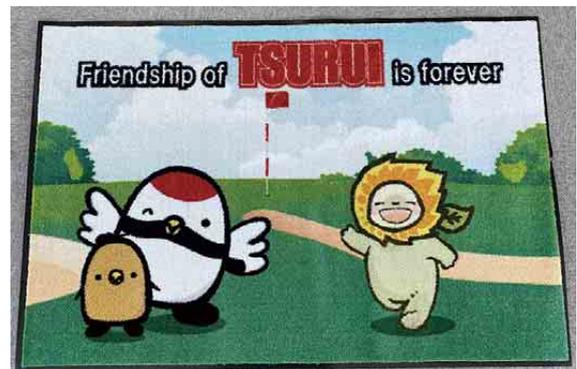
同じ学校名という縁から交流を重ねてきた「ふるさと創生中学生派遣交流事業」が、市川町立鶴居中学校の閉校により、20年間の交流を終えました。

市川町との交流は、平成12年度から始まり、市川町立鶴居中学校との交流をはじめ、姫路城・人と防災未来センターの見学、屋形区地蔵盆の参加や地域の方々との交流など、子どもたちにとって貴重な体験や経験をすることができました。

新型コロナウイルスの影響により、市川町への訪問は叶いませんでしたが、令和4年2月4日(金)に最後のオンライン(Zoom)交流を行い、岩見市川町長、山下教育長、楠田同窓会長の3名、村からは、大石村長、長尾副村長、村上教育長が参加しました。

岩見町長は、鶴居村の子どもたちの印象、交流時の思い出、20年間の交流に対する感謝とお礼の言葉をいただきました。

大石村長からは、20年間の交流の受け入れや地域全体で盛大な歓迎をしていただいたことへの感謝とお礼の言葉を述べて会を終えました。後日、市川町から長きにわたる交流の記念品として、両町村マスコットキャラクターが印刷されたフロアマットをいただき、役場庁舎入口に設置する予定となっておりますので、役場にお越しになった際には、ぜひご覧ください。



鶴居村ふるさと創生中学生派遣交流事業について

1 交流の始まり

学校名が同じという縁から、村内の中学2年生を対象に、鶴居村ふるさと創生基金を活用して中学生派遣交流事業が始まった。

2 目的

他地域の文化や歴史の視察、伝統行事体験や地域の方々との交流を通して、これからの将来を展望できる創造性豊かな人材を育成する。

3 交流実績

- ・ 交流期間：平成12年から令和3年まで(令和2～3年度は中止)
- ・ 派遣人数(生徒)：564人
- ・ 交流先 兵庫県市川町立鶴居中学校
- ・ 視察先 人と防災未来センター、姫路城、屋形区地蔵盆、神戸市内、市川町内他



えばらの森 かぶとむしドーム



姫路城



屋形区地蔵盆



令和3年

FOREVER



20年間本当にありがとうございました